

ふれあいを大切に ～ 私達の婦人部活動

海路口漁協婦人部

渡 辺 明 子

1. 地域の概要

私達の住む海路口町は、干満の差が大きく、また広大な干潟を持つことで有名な有明海の中部に位置しています。町のすぐ南には、宮崎県との県境に近い緑豊かな九州山地を水源とする一級河川の緑川が注ぎこんでおり、栄養に恵まれた漁場を作っています。

以前の行政区分は飽託郡天明町に属していましたが、飽託郡と熊本市との合併によって現在は、昔の字名から熊本市海路口町と名称を改めています。町名の由来ですが船による運搬がさかんだった昔、緑川を下って来る船にとっての海路の始まりの地点つまり海への玄関口というべき意味があり、昔から海とのかかわりが深いようです。

2. 漁業の概要

海路口漁協は、正組合員416名 准組合員11名の合計427名でその大部分は、地先にひろがる広大な干潟を利用した海苔養殖業やアサリ・ハマグリなどの採貝業に従事しています。特に海苔養殖はアサクサ種の導入など製品向上に積極的にとりくみ、よりよい浜づくりを目指して全員ががんばっています。

3. 婦人部の組織及び運営

海路口漁協婦人部は、昭和56年に設立されて以来16年にわたり活動しています。現在部員数100名、役員数10名で、構成は漁家の女性と農家・サラリーマンの女性をふくむ、地域女性が参画したにぎやかな組織です。活動資金は部員からの会費と漁協からの助成金そして私達が開催する即売会・バザーなどの利益で運営しています。

4. 活動課題選定の動機

現在、全国で漁業をしている人が年々少なくなっていることもあって、婦人部では部員が減ってきています。また設立してから長い年月がたってきて、部員の平均年齢の上昇や活動に活気がなくなってきたことが心配されています。私達の婦人部も同じような悩みをかかえているのですが、せっかくここまでがんばってきたのですからここで弱音をは

くなんてわけにはいきません。婦人部のみんなが明るく楽しく参画できる漁協婦人部づくりがきっと漁協全体を元気にさせてくれることを信じています。私は7年前に母と交代して婦人部に参画していますが『ふれあい』を大切に運営されてこられた先輩のおかげでこれまで頑張ってくることができました。そこで本日、『ふれあいを大切に』を合言葉にして私達婦人部全員で工夫して取り組んできたことを発表いたします。

5. 実践活動の状況と成果

これからどのような工夫でがんばっているのか、私達の一年間の主な活動を取りあげて順番にご紹介します。

① みんなで体験・・・固形せっけんづくり

まずトップバッターで登場したのは総会の一ヶ月前に取り組む固形石けんづくりです。すぐ目の前の海を合成洗剤や廃油などから守るために漁協に廃油を持ち寄ってつくり始めました。最近では、家庭の廃油はもちろん近所の給食センターや老人ホームから廃油をいただいてたくさん作っています。おかげさまで石けんも年々上手にできるようになりましたし、給食センターや老人ホームに百個ずつプレゼントすることで大変喜ばれています。また総会の記念品にこの石けんをリボンと『地球にやさしい石けん』の言葉を添えて部員に配っています。部員の石けんに対する関心は高まって石けんづくりへの参加者も増えています。そのほかにもEM菌を使った生ゴミリサイクル講習やゴキブリ団子づくりなど新しい取り組みもやっています。

② みんなが主役・・・ふれあい総会

さあ次ぎはいよいよ総会です。私達の総会は午前10時に始まり午後4時ごろやとおわります。なぜこんなに時間がかかるのでしょうか・・・実は総会の議事がおわると昼食をはさんで、全員参加のアトラクションが開催されるからなのです。この催しは当初、漁協の倉庫で前日から漁協後継者に協力をしてもらいステージや音響を設置するという手づくりイベントでした。最近では、近所に立派なステージのあるコミュニティセンターができましたのでそこで開催しています。

さて興味あるアトラクションの出し物ですが、日本舞踊に詩吟、そして美しいドレスを身にまとった歌手のショーや元気はつらつ健康体操チームのダンスなど盛りだくさんです。今年の総会ではなんと29の出し物が美女によって披露されましたが、私も総会司会と歌手として活躍しました。また出演者の家族や地域の人々が大勢観客として訪れ、漁協婦人部の明るい活動のピーアールになっています。

③ みんなで協力・・・ふれあい即売会とバザー

私達はふれあいづくりの一環と、少しでも活動資金を婦人部の活動によって生みだ

そうと毎年、手づくりの即売会とバザーを漁協会議室で開催しています。他の漁協婦人部の加工品やイリコ・海藻・山の幸などを原価で仕入れ、即売会の宣伝チラシを地域の各家庭に配布して開催します。年々婦人部全体の理解と参加が高まり、当初6万円程であった売上利益も、平成8年は77,425円そして平成9年は99,248円と増えています。そのおかげで、婦人部活動にも余裕ができ、花の苗等の購入にあてて花を増やす運動を展開したりして、ますますやる気ができました。

④ みんなで燃焼・・・火の国まつりなどへの参加

婦人部の活動は、地域だけでこっそりやっていたは目立ちません。そこで熊本を代表する夏祭りの火の国まつりへ参加して、観客の人へ漁協婦人部員のはつらつとした姿を披露しています。去年は部長が『おてもやん』私が『彦しゃん』という民謡の主人公に変装して踊りました。また私達の婦人部員が中心になって構成している『健康体操チーム』も火の国祭りはもちろんその他のイベント等で美しさを披露しています。ほかにもまだまだ活動がありますが、以上4つの工夫について簡単にご紹介しました。

6. 波及効果

このような活動によって、部員のみなさんの参加がふえてきました。また人前で歌や踊りを披露するようになって『自分に自信がついた』とか『活動にも自信がついた』という部員の声も聞かれます。そして地域の人からの私達活動への理解も高まってやりがいの、でてきました。これもひとえに私達のふれあいを大切にしたい明るい活動の成果だと思えます。

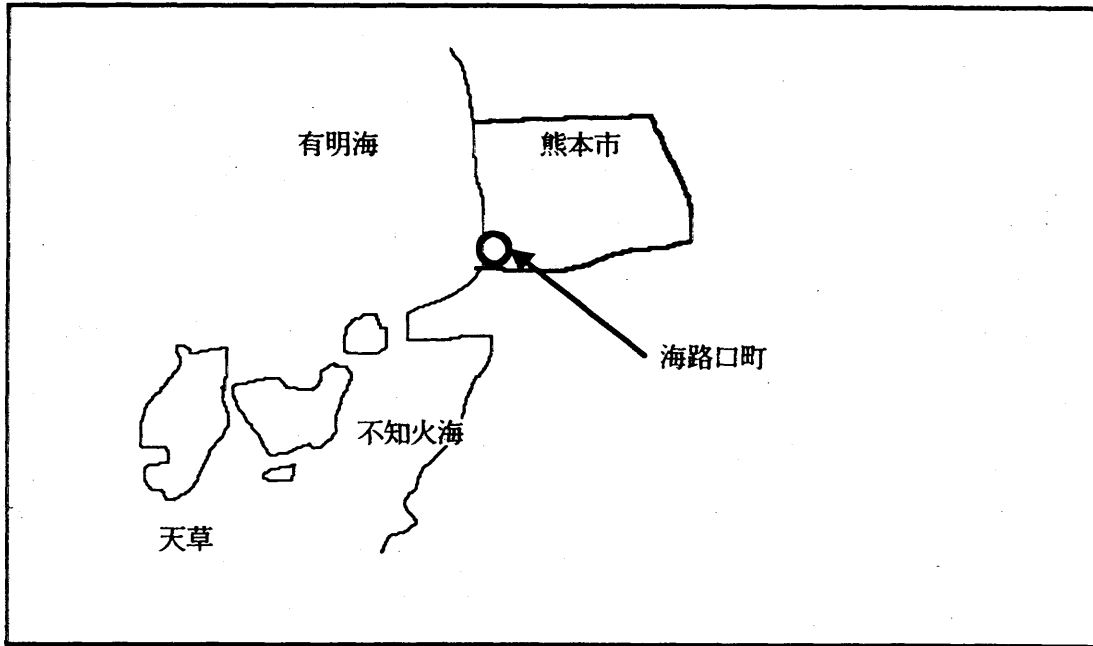
7. 今後の活動計画

これからも、ふれあいを大切に婦人部活動を頑張っていりますが、そのためにはもっと婦人部の魅力をアピールしたいと考えます。

- ① 楽しみ増やそう計画・・・部員の仲間どうし集まって健康体操や旅行、趣味の講座など開いて楽しみます。
- ② 婦人部ファン増やそう計画・・・漁協の男性や地域の住民の方に婦人部のイキイキとした活動をもっとアピールして理解をいただくように努力します。
- ③ 活動資金は自分達で・・・漁協の助成金だけに頼らず、即売会等の開催によって活動資金を自分達の手によってもっと生み出すように頑張ります。そして、その努力がきっと漁協全体への理解の深まりと活力の源になることを信じます。

さあ、婦人部のみなさんこれから明るい漁村づくりの主役として、はりきって元気よく頑張らしましょう。・・・以上海路口漁協婦人部の活動報告といたします。

地域概要図



ふれ合い即売会利益実績

